

# CIVITAS Forum 2018

Report of CIVITAS Forum 2018

梶山和哉<sup>1</sup> 矢部 努<sup>2</sup>

By Kazuya MASUYAMA and Tsutomu YABE

## 1 はじめに

CIVITAS (City VITALity Sustainability) は、欧州委員会のモビリティ・運輸総局が実施する持続可能な都市交通政策プログラムであり、環境や持続可能性といった課題について、交通政策や都市再生の分野で先進的な取組を行う都市をEUが支援するものである。CIVITASは、2002年～2006年のCIVITAS Iに始まり、2019年現在、5期目のCIVITAS 2020(2016年～2020年)が進行中となっており、CIVITAS2020では、以下に示す10のテーマ領域が設定され、CIVITAS Forumと呼ばれる年1回開催の会合で各都市の施策事例の情報提供や意見交換が行われている。

### 【CIVITAS 2020のテーマ領域】

1. 車に依存しないライフスタイル
2. クリーンな燃料と自動車
3. 集団旅客輸送
4. 交通需要マネジメント戦略
5. 交通機関の統合計画
6. モビリティ・マネジメント
7. パブリック・インボルブメント
8. 安全と安心
9. 交通移動通信システム
10. 都市物流

本稿では、2018年9月19日～21日の3日間、スウェーデン北東部に位置する地方都市ウメオ市にて開催されたCIVITAS Forum 2018の概要や主な話題等を紹介する。

## 2 CIVITAS Forum 2018について

### (1) 概要

CIVITAS Forum 2018は、「Mobility for U and

Me(あなたと私のためのモビリティ)」というテーマで、2018年9月19日～21日の3日間、スウェーデンのウメオ市で開催された。

全体セッションから始まり、3日間を通じて27のセッション(分科会)において各都市の取り組みの紹介や意見交換がなされた。

表-1 CIVITAS Forum 2018のセッション一覧

	No.	セッションタイトル
9/19	1	開会プレナリー
	2	都市交通安全管理:共通の責任
	3	リンクと機能:首都圏および地方都市圏における相互接続と連携
	4a	#MixAndMove! マルチモダリティとヨーロッパ・モビリティ・ウィーク
	4b	自転車共有システム - 新しいアプローチの可能性
9/20	5	生き生きとしたSUMPの革新
	6	近隣モビリティ環境における共創アプローチ
	7	駐車場の戦略と解決策:駐車場の資源の効率的な管理
	8a	ISAACと都市交通安全部門:歩行者と自転車の施策はどれだけ効果的か?
	8b	成長するスマートプロジェクトから学んだビジネスモデルと教訓
	9	スマートシティの模倣:最前から学ぶ
	10	都市へのアクセス規制:次は何をするか?
	11	スウェーデン人と出会う 第1部
	12a	持続可能な都市モビリティ指標によるヨーロッパの都市域におけるモビリティパフォーマンスのモニタリング
	12b	デジタルアプリケーションによる自転車交通データの収集
	13	ゼロ・エミッション貨物配送とサービストリップ
	14	CIVITAS都市におけるコネクテッドモビリティと自動モビリティ
	15	スウェーデン人と出会う 第2部:ウィンターハッカソン
	16a	ITSと移動の観測 - ウメオ市と足跡プロジェクトの例
	16b	CIVITAS PORTIS:持続可能なマルチモーダル政策の中核としての革新的なガバナンスとデータ管理
	17	ヨーロッパの都市と地方における包括的なモビリティと都市再生
	18	SUMPの国家政策
19	SUMP方針の策定による革新的なモデリング手法 - 循環・共生プロジェクトの例	
20	シェアモビリティ:コンセプトから実践まで	
9/21	21	徒歩と自転車を重要にする方法
	22	CIVITAS都市におけるEモビリティのための課金インフラストラクチャの展開:経験と提言
	23	都市の持続可能なモビリティ戦略の評価 - CIVITAS 2020評価フレームの基本理念
	24	都市縁辺部の規制緩和 - 人口があまり密集していない地域とのアクセスと接続の考え方
	25	ビッグデータ - 持続可能な都市モビリティ政策における課題の解決策
	26	スウェーデンの都市環境協定
	27	中国との国際協力

<sup>1</sup>都市地域・環境部門 研究員 <sup>2</sup>交通・社会経済部門 担当部門長兼グループマネージャー 博士(工学)

また、このほかにもポスターセッションも同時に開催されており、各都市の行政職員やコンサルタントなどが商談会のような形で直接話ができる場も整えられていた。



写真-1 ポスターセッションの様子

## (2) 主な話題

CIVITAS Forum 2018で取り上げられているトピックは、スマートシティやシェアモビリティ、ビッグデータなど、我が国でも近年話題になっているようなものが多く見受けられた。その中で、本稿ではヨーロッパ・モビリティ・ウィークの話題を取り上げたい。

ヨーロッパ・モビリティ・ウィークは毎年9月16～22日で実施される持続可能な都市交通に関するヨーロッパ内での意識向上のキャンペーン及び通年で行う関連活動である。一家に一台となっている自動車交通に対して別の交通手段を用意して利用促進することや、市民や地域社会を巻き込んだ社会実験を実施することで市民意識を変容させ、持続可能な都市交通体系の構築を図っていくことを目的としている。主要な取組としては、我が国でも各地で実施されているカー・フリー・デーや、持続可能な交通手段の試験的導入、試験後の利用促進施策を実施しているとのことであった。



図-1 2018年カー・フリー・デーの実施都市数

CIVITAS Forum 2018の開催都市であるウメオ市の活動も紹介されており、シェアバイク「U-BIKE」を2015年から導入し、休憩スペースや自転車の整備スペースを備えた拠点ポートを整備した取組や、マルチモーダルハブの整備が紹介された。



図-2 ウメオ市の「U-BIKE」と拠点ポートの整備



図-3 ウメオ市のマルチモーダルハブの整備

## 3 おわりに

CIVITAS Forumは多岐に渡るトピックについて実務者が情報提供し、課題を抱える各都市が課題の解決を図るためのヒントを得るための場として機能している。課題解決のためのヒントも、ただ一方的に情報提供を受けるだけではなく、ポスターセッションなどの場を通して、実務者同士が議論を重ねられる場が整えられていることから、先進都市に追随する都市や、関連する新たな取組を検討している都市にとっては具体的な取組や事業に結びつけやすくなっている。

CIVITAS Forumが、ヨーロッパ各都市の都市政策の向上に寄与している点を多く感じることができた。

## 参考文献

- 1) CIVITAS Forum 2018ホームページ  
(<https://civitas.eu/forum2018>)